# （3）歯・口腔の健康推進協議会で挙げられた課題

# 歯・口腔の健康推進協議会で挙げられた12の課題

課題１．フッ化物洗口の効果を保護者や教職員へフィードバック
課題２．特別支援学校でのフッ化物洗口に代わる予防法
課題３．嚥下体操を日常で継続できない高齢者の誤嚥性肺炎予防の口腔ケア
課題４．30・40歳の未処置歯が多い。
　　成人歯科健診後、治療のために歯科受診につながらない
課題５．口腔ケアの悪い子は扁桃炎や咽頭炎、副鼻腔炎になりやすい
課題６．一人でむし歯を多く持つ児童がいる。
　　受診勧告しても受診しない児童がいる
課題７．中学生の歯肉炎予防
課題８．児童が歯や口腔の健康について学ぶ機会の増加。
　　学校歯科健診時に歯科指導を行う登録歯科衛生士を増やす
課題９．学校栄養士協力のもとシュガーコントロールの普及啓発
課題10．保健師が口腔の指導もできるように定期的な講習会の開催
課題11．薬剤師がドラッグストア等で扱っている歯科衛生用品の知識を持つ
課題12．地域で様々な立場にいる歯科衛生士の連携

# 課題への取り組み

下記の２項目に分けて検討する

１．むし歯・歯周病予防

２．口腔機能維持向上

# １．むし歯・歯周病予防

## （１）取り組めたこと

・幼児健診での個別歯科保健指導の再開
・保護者向けに歯間部清掃補助用具使用の啓発
・フッ化物洗口事業動画の作成
・特別支援学校職員に歯科健康教育を実施
・学校現場での「食に関する指導」の実施
・学校歯科医師・歯科衛生士の保健指導・教育

# 1．むし歯･歯周病予防

## （２）取り組めていないこと・課題になっていること

①フッ化物洗口事業の全市立小学校全学年での実施

②歯みがきの実技指導が困難

③各施設での食後の歯みがきの再開

④中学生の歯肉炎対策

⑤進行した歯周炎を有する人の割合が国や県より高い

# １．むし歯・歯周病予防

## （３）－１　これから取り組んでいきたいこと

**◎①全市立小学校全学年でのフッ化物洗口事業再開**

令和5年度からの全校実施を目指し、令和4年度中に再開に向けての基盤を整える。

**②③食後の歯みがきや実技指導を安全に再開できる方法の提案**

歯みがき再開の目安について、医療関係者の協力を得て検討する。

保育園・幼稚園や学校に文書を送付する際に、歯みがきに代わる口腔衛生教育の提案も行う。

# ＜フッ化物洗口事業の取り組み＞

平成２２年度～平成２４年度　モデル事業（保育園２園・幼稚園２園・小学校３校）
平成２５年度　検討委員会を立ち上げ、小学校の全校全学年での実施を目指すこととした
平成３０年度　全小学校５４校（当時）での取り組みが達成
令和２年度　　子どもの貧困対策「親子のしあわせ応援プロジェクト」の推進すべき事業

| | 平成26年度 | ～ | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度（10月末実績） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 実施校数 | 10校 | | 49校 | 54校 | 54校 | コロナ禍にて中止 | 15校 | 18校 |
| 実施クラス数 | 46クラス | | 422クラス | 525クラス | 681クラス | | 246クラス | 308クラス |
| 実施人数 | 1，406人 | | 12，310人 | 15，513人 | 20，189人 | | 7，253人 | 8，708人 |
| 1校での最小実施学年数 | 1学年（5校） | | 1学年（22校） | 1学年（17校） | 1学年（1校） | | 2学年（1校） | 2学年（1校） |
| 1校での最大実施学年数 | 4学年（2校） | | 全学年（12校） | 全学年（13校） | 全学年（19校） | | 全学年（14校） | 全学年（16校） |

（令和4年5月1日現在　小学校55校　1，059クラス　32，657人）

# 1. むし歯・歯周病予防

## （３）－２　これから取り組んでいきたいこと

《中長期的な取り組み》

### ④永久歯列に生え変わる学齢期の健康教育

令和4年度から計画

学校関係者と連携して、むし歯予防に加えて将来の歯周病予防にもつながる小・中学生へのアプローチ方法を検討

**★新たな取り組み★**

学校等で利用できる動画やDVDなどの映像媒体の調査・提供

### ⑤進行した歯周炎を有する人の割合の減少に向けた取り組み

成人歯科健康診査及び妊婦歯科健康診査の受診率の向上

**～背景～　市の健診を連続で受診した人の結果がよくなっていることに着目。**
**市の健診をきっかけにかかりつけ歯科医を持ち、自らの歯・口腔の健康管理につながることに期待。**

**★受診率向上に向けての新たな取り組み★**

スマホ世代へのアプローチ！

令和４年度より、「いい歯の日」に合わせて、Twitterを利用して健診受診を促す（成人歯科）
協力歯科医療機関のホームページに掲載している歯科医院情報を充実させる（成人・妊婦）

# ２．口腔機能維持向上

## （１）取り組めたこと

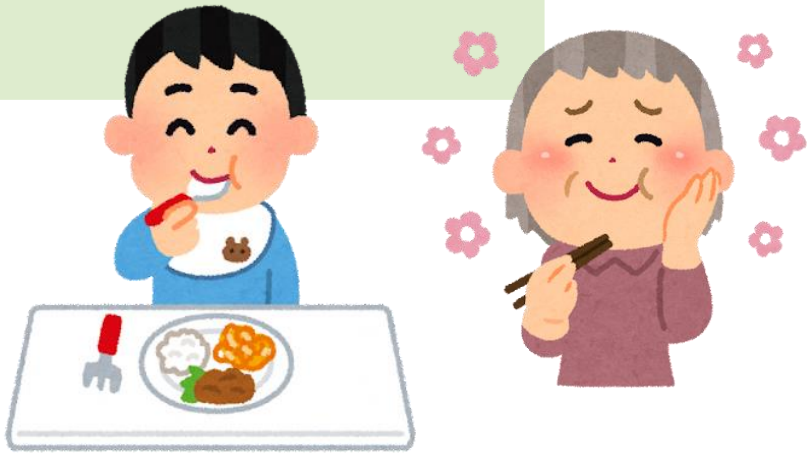
・鼻呼吸を促す子ども向け遊びの提案や展示
・食育展や保健福祉センターでオーラルフレイル予防の展示
・学校現場での「食に関する指導」の実施
・寿大学にて歯科医師によるオーラルフレイル予防の健康教育実施
・「シルバーリハビリ体操教室」でオーラルフレイル予防の講話と相談を開始

# ２．口腔機能維持向上

## （２）取り組めていないこと・課題になっていること

①乳幼児期、学齢期への口腔機能発達に関する情報提供

②地区活動の停滞により成人期・高齢期向けの健康教育依頼が減少



# 2. 口腔機能維持向上

## （3）これから取り組んでいきたいこと

### ①乳幼児期、学齢期の口腔機能発達についての情報提供

母子保健事業等を活用した保護者向け展示・リーフレット配布、SNS利用の検討

栄養士と連携した乳幼児向けレシピの作成等

「食に関する指導」学校栄養士との連携や情報交換

《中長期的な取り組み》

### ◎②オーラルフレイルについて成人・高齢者向けに周知啓発を行う

令和5年度計画

「女性のための健康講座『めざせ！姿勢美人』」にて、口腔体操や講話を開始

関係課及び地域組織と連携し、「通いの場」等での相談や講座の場を設ける

「オーラルフレイル」の言葉の認知度、理解度を上げる工夫

ショッピングモールなどの身近な場所での「健口くん」を活用した口腔機能測定会の開催を検討

# 各団体より

【歯科医師会】

【医師会】

【薬剤師会】

【歯科衛生士会】

【PTA連合会】

【校長会】

【養護教諭会】

【学校栄養士会】